

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本エレクトロプレイング・エンジニアース 1号棟	階数	地上5F
建設地	平塚市新町5-50	構造	S造
用途地域	工業地域、工業専用地域	平均居住人員	35人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2020年2月14日
敷地面積	962㎡	作成者	一級建築士事務所(株)山下設計
建築面積	630㎡	確認日	2020年2月14日
延床面積	2,492㎡	確認者	一級建築士事務所(株)山下設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> JR平塚駅から徒歩40分の工業地域及び工業専用地域で国道1号にも近接した地域に研究施設を計画した。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に無し 	
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 取り入れ外気への配慮があり、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。 全館禁煙を実施している。 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 耐用年数の長い内装材・設備機器の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。 ゆとりのある階高にて、将来の用途変更可能性を考慮している。 	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 特に無し
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 特に無し 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。 OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。 	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内に屋外広告照明の設置は避け、周辺の光害抑制を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される